

第2次高松市創造都市推進ビジョンにおける取組について

【こどもプロジェクト】 恵まれた地域資源の中で想像力を育む

No.	主な取組事業名	主な取組事業概要	SDGs	R3決算額(千円) R4予算額(千円)	実施実績 (指標)	実施実績 (数値)	実施実績(数値)に 対するコロナの影響 内容	実施実績上昇率 (前年度/前々年 度)	令和3年度における成果 (コロナの影響や具体的な対応含む)	令和4年度事業内容	令和4年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	今後の方向 性	主管課 (関係部署)
1	芸術士派遣事業	<p>芸術士が本市内の公私立の保育所・こども園と、公立幼稚園を分担し、日々の保育及び教育の中で保育士等と連携しながら、子どもたちと造形活動や身体表現等、様々な表現活動を行っています。</p> <p>芸術士は、子どもたちの無限の可能性を信じ、子どもたちの感性と創造力を最大限に引き出す手助けをし、子どもたちと社会をつなぐ架け橋として子どもたちの創造力の育成に努めています。</p>	4	決算額: 34,877千円 予算額: 34,877千円	派遣箇所数	平成25年度 27か所 平成26年度 35か所 平成27年度 40か所 平成28年度 40か所 平成29年度 40か所 平成30年度 43か所 令和元年度 43か所 令和2年度 43か所 令和3年度 73か所	新型コロナウイルス感染症の影響により、活動報告展は中止した。	169.8%	芸術士と派遣先である保育所・こども園及び幼稚園の児童が協同し、継続して創作活動を実施したことにより、子どもたちが持っている感性や創造力を伸ばしているよう導くことや創造力を伸ばすことができた。	平成21年から実施している事業であるが、今後も、芸術士を保育所等へ派遣し、それぞれの芸術分野を生かしながら、子どもが持っている感性や創造力を伸ばしていけるよう導くとともに、指導方法の共有化や人材の確保に努める。	新型コロナウイルス感染拡大期においては、派遣の中止を検討し、中止した場合は延期や他園への振替え等により対応する。 派遣及び懇談会の実施に当たっては、感染防止対策の徹底に努めた上で行う。	継続	こども保育教育課
2	0才からのコンサート	<p>0歳から3歳くらいまでの子どもとその保護者(妊婦を含む)を対象に、親子で一緒に楽しめるクラシック・コンサートの鑑賞の機会を提供し、乳幼児をもつ保護者へのひとときの安らげる時間を提供するほか、乳幼児には幼い頃から音楽に触れる機会を提供し、音楽文化の創造に関心を深めることを目的に実施します。</p>	4.17	決算額: 925千円 予算額: 1,000千円	観客数	平成25年度 実績なし 平成26年度 463人 平成27年度 602人 平成28年度 559人 平成29年度 641人 平成30年度 361人 令和元年度 299人 令和2年度 404人 令和3年度 219人	1公演中止(年間4公演予定) 公演日、会場を変更の上、観覧者数を制限して3公演実施した。	54.2%	新型コロナウイルス感染症の影響により、公演日の変更や一部中止、募集定員を会場の収容定員の半分程度に制限を行い、実施した。	新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じた上で、引き続き、市民の人気の高い本事業の開催を継続し、より多くの市民が音楽に触れる機会を提供する。	従来から行っている申込者連絡先の把握に加え、出演者の体調管理、当日の消毒、3密回避等の対策を講じた上で、感染拡大の状況を見極めながら実施する。 なお、できる限り観客間の距離を確保するため、収容人数の大きい施設を中心に開催する。	継続	文化芸術振興課
3	ものづくりふれあい教室事業	<p>小・中学生を対象に、ものづくりにチャレンジしながら、文化の創造に関心を深め、ものづくりの大切さを体験する機会を提供します。</p> <p>工芸の視点も取り入れ、子どもたちに日本の伝統文化の魅力も伝えていきます。</p>	4.17	決算額: 480千円 予算額: 480千円	参加数545人	平成25年度 829人 平成26年度 861人 平成27年度 1,223人 平成28年度 1,025人 平成29年度 651人 平成30年度 760人 令和元年度 693人 令和2年度 644人 令和3年度 545人	新型コロナウイルス感染症の影響により2校が中止となった。	84.6%	新型コロナウイルス感染症対策として、参加人数が50人を超える場合は開催教室を2つ、3つと分けて密にならないよう感染拡大防止をしながら開催した。	新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じた上で、引き続き事業を継続し、情操教育の一環として役立てる。	新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、感染拡大の状況を見極めながら実施する。	継続	文化芸術振興課

第2次高松市創造都市推進ビジョンにおける取組について

【こどもプロジェクト】 恵まれた地域資源の中で想像力を育む

No.	主な取組事業名	主な取組事業概要	SDGs	R3決算額(千円) R4予算額(千円)	実施実績 (指標)	実施実績 (数値)	実施実績(数値)に 対するコロナの影響 内容	実施実績上昇率 (前年度/前々年 度)	令和3年度における成果 (コロナの影響や具体的な対応含む)	令和4年度事業内容	令和4年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	今後の方向 性	主管課 (関係部署)
4	学校巡回芸術教室・ 能楽教室事業	小・中学生の情操教育の一助とし、健全育成に資するため、学校巡回形式で、生の優良な芸術や古典芸能を鑑賞し、体験する機会を提供します。 今後は、能楽、歌舞伎等の伝統芸能を身近に鑑賞、体験できる機会の提供(ホール公演、薪能等)についても検討していきます。	4.17	決算額:4,157千円 予算額:4,200千円	【学校巡回芸術教室】 参加者数	平成25年度 8,360人 平成26年度 7,097人 平成27年度 12,283人 平成28年度 9,876人 平成29年度 7,983人 平成30年度 9,147人 令和元年度 10,044人 令和2年度 4,739人 令和3年度 3,642人	新型コロナウイルス感染症の影響により4校が中止となった。	76.9%	新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じた上で、一部については鑑賞者数を減らしたり、動画鑑賞による実施とし、10メニューを19校で開催した。	新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じた上で、引き続き事業を継続し、情操教育の一環として役立てる。	新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、感染拡大の状況を見極めながら実施する。	継続	文化芸術振興課
				決算額:1,690千円 予算額:1,677千円	【能楽教室事業】 参加者数	平成25年度 2,172人 平成26年度 2,965人 平成27年度 1,555人 平成28年度 3,617人 平成29年度 3,243人 平成30年度 2,650人 令和元年度 2,466人 令和2年度 1,383人 令和3年度 1,437人	なし	103.9%	新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じた上で、一部については鑑賞者数を減らしたり、動画鑑賞による実施とし、6メニューを6校で開催した。	新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じた上で、引き続き事業を継続し、情操教育の一環として役立てる。	新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、感染拡大の状況を見極めながら実施する。	継続	文化芸術振興課
5	地域密着型トップスポーツチームの活用	カマタマーレ讃岐等、4つの地域密着型トップスポーツチームを活用し、学校訪問や試合への無料招待等、子どもたちに直接選手等と交流できる機会を提供することで、子どもたちの向上心や創造力の育成を図ります。 平成29年度からは、香川ファイブアローズの選手が施設(市内幼稚園・保育園、小・中学校など)を訪問し、交流を深めることで、広く市民にチームをPRし、ファン層の拡大や青少年の健全育成等を図ることを目的として、新たに「ホームタウン推進事業」を実施しています。さらに、30年度からは、カマタマーレ讃岐を本事業の対象とするなど、今後も、香川県やトップスポーツチームと連携を図りながら、様々な機会を通じ、より多くの子どもたちにトップスポーツチームの選手等と交流できる機会を提供していきます。	3.4.17	決算額:13,207千円 予算額:12,504千円	教室等開催回数	平成25年度 15回 平成26年度 11回 平成27年度 10回 平成28年度 7回 平成29年度 65回 平成30年度 109回 令和元年度 79回 令和2年度 44回 令和3年度 27回	新型コロナウイルス感染症の影響により、教室を開催できないチームが多く、開催回数も大幅減となった。	61.4%	選手が施設(市内幼稚園・保育園、小・中学校など)を訪問し、交流を深めることで、広く市民にチームをPRし、ファン層の拡大や青少年の健全育成等を図ることを目的として実施する「ホームタウン推進事業」を香川ファイブアローズ、カマタマーレ讃岐が実施したが、新型コロナウイルス感染症の影響により、教室を開催できないチームが多かった。	地域密着型トップスポーツチームを活用し、引き続き、市内幼稚園・小中学校等への訪問や高松市民応援デー等における試合への無料招待などを実施していく。また、練習・教室使用料補助事業を通じ、地域密着型トップスポーツチームが市内におけるスクール事業の拡大に向けて取り組むなど、今後においても、子どもたちの向上心や創造力の育成を図っていくため、県や地域密着型トップスポーツチームと連携を図りながら、様々な手段を通じ、一人でも多くの子どもたちに選手等と触れ合え、夢を実現する機会を提供していく。	新型コロナウイルス感染症の状況を注視し、感染防止対策を講じた上で実施する。	継続	スポーツ振興課
6	高松市美術館こどもアートスペース	平成28年3月のリニューアルに合わせて、高松市美術館内に「こどもアートスペース」を開設しました。“ふらっとアート”では気軽に制作を楽しめるプログラムをシーズン毎に企画提供し、未就学児を始め様々な世代等に親しまれる教育普及プログラムを展開します。	4	決算額:195千円 予算額:196千円	こどもアートスペース利用者数	平成28年度 1,776人 平成29年度 1,303人 平成30年度 1,765人 令和元年度 3,417人 令和2年度 3,238人 令和3年度 3,271人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休館(77日間)や「こどもアートスペース」の臨時休室(6/1~6/20ほか)により、開室日数が減少した。	101.0%	臨時休館及び「こどもアートスペース」の臨時休室にもかかわらず、知名度向上とリピーター増加、そして魅力的なプログラムの提供により、利用者数は微増となった。	引き続き「こどもアートスペース」を活用し、未就学児を始め様々な世代に親しまれる教育普及プログラムを展開していく。特に“ふらっとアート”では気軽に制作を楽しめるプログラムをシーズン毎に企画提供し、幅広い世代に楽しんでいただく予定。また、子ども向けの美術図書や絵本を自由に閲覧していただく。	万全の感染対策を取りながら、事業を継続する。	継続	美術館美術課

第2次高松市創造都市推進ビジョンにおける取組について

【こどもプロジェクト】 恵まれた地域資源の中で想像力を育む

No.	主な取組事業名	主な取組事業概要	SDGs	R3決算額(千円) R4予算額(千円)	実施実績 (指標)	実施実績 (数値)	実施実績(数値)に 対するコロナの影響 内容	実施実績上昇率 (前年度/前々年 度)	令和3年度における成果 (コロナの影響や具体的な対応含む)	令和4年度事業内容	令和4年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	今後の方向 性	主管課 (関係部署)
7	こども未来館わく わく体験事業	子どもを中心とした幅広い世代の人々の交流、子育てに係る支援並びに学習及び体験活動の場を提供することにより、子どもの夢や想像力を育むとともに、健やかな成長に資するため、遊びや科学、アートなどの体験活動を提供するイベントプログラムや親子で参加できる体験イベントなどの様々な魅力ある事業の提供に努めています。	3、4、 10、17	決算額:1,605千円 予算額:2,025千円	開館記念事業としての実績: 企画事業入館者数 平成29年度~: こども未来館わくわく体験事業参加者数	平成28年度 6,694人 平成29年度 4,833人 平成30年度 5,550人 令和元年度 4,367人 令和2年度 284人 令和3年度 1,686人	実施実績について、前年度より増加しているが、イベント中止などの影響で、参加者数はコロナ前に比べて減少している。	593.7%	新型コロナウイルス感染症の影響で公募プログラムが3回中止となるなど、コロナ前に比べ参加者数は減少しているが、開館5周年目となった昨年度のこども未来館まつりでは、参加者数が過去最多となった。 ・公募プログラム 307人 ・こども未来館まつり 1,065人 ・遊び体験プログラム 314人	新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、子どもの夢や想像力を育み、健やかな成長に資するような体験イベントなどを実施する。	状況に応じて判断することになるが、消毒や換気の徹底を徹底し、利用者の安全性の確保に努め、概ね実施予定である。	継続	こども未来館
8	子ども・子育て支 援事業	みんなのひろばとプレイルームを子どもと保護者の居場所として提供するとともに、子ども・子育ての相談に対応し、子どもと親がともに育ち合う子育て支援機能とふれあい・交流による多世代交流機能を果たすことを目的として実施します。	3、4、 10、17	決算額:28,177千円 予算額:22,072千円	みんなのひろば・ プレイルーム利 用者数	平成28年度 35,082人 平成29年度 76,597人 平成30年度 80,443人 令和元年度 73,871人 令和2年度 38,515人 令和3年度 39,675人	閉館や、定員を減らすなどの影響で、コロナ前に比べ利用者数が減少している。	103.0%	閉館や定員の制限により、コロナ前に比べ利用者数が減少した。プレイタイムごとに換気や清掃・消毒を行い、利用者の安全性の確保に努めた。	新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、子どもと保護者のふれあいの場となるよう居場所提供事業を行う。	状況に応じて判断することになるが、消毒や換気の徹底を徹底し、利用者の安全性の確保に努め、概ね実施予定である。	継続	こども未来館
9	こども未来館学習 体験事業	市内の小学校4年生(ただし、学校の状況により5年生以上、学校の希望により、中学校の生徒を対象に実施できる。加えて、連携中核都市圏の小・中学校も受入れ可能。)を対象として、こども未来館の施設を利用した体験的な学習活動を通して、子どもたちの想像力と探究心を育むことで、健やかな成長に資することを目的に実施します。	3、4、 10、17	決算額:31,839千円 予算額:38,333千円	こども未来館学 習実施学校数/ 延べ人数	平成28年度 21校/1,737人 平成29年度 54校/4,558人 平成30年度 61校/4,821人 令和元年度 61校/4,861人 令和2年度 42校/3,470人(うち、出張!こども未来館学習36校/3,146人) 令和3年度 45校/3,253人	16校が中止となった。	【学校数】 107.1% 【延べ人数】 93.7%	令和3年度はコロナ対策を施した上で当館にて実施した。新型コロナウイルス感染症の影響で16校が中止となり、コロナ前に比べ実績が下回った。	新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、こども未来館学習を実施した学校からの意見を踏まえて、学習の課題等を検討し、学習内容の充実を図りながら実施する。	状況に応じて判断することになるが、消毒や換気の徹底を徹底し、利用者の安全性の確保に努め、概ね実施予定である。	継続	こども未来館
10	夢みらい図書館	子ども向けの本を充実させるとともに、おはなし会や読み聞かせ、多様なイベント等を開催するなど、子どもに重点を置いた、子どもも大人も楽しく本に親しむことができる場を提供しています。	4	決算額:10千円 予算額:372千円	子ども対象イベ ント参加者数	平成28年度 496人 平成29年度 2,555人 平成30年度 2,684人 令和元年度 2,207人 令和2年度 1,161人 令和3年度 1,073人	休館中の行事が中止となったことにより参加者が減少した。	92.4%	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、たかまつミライエが休館することに伴い、夢みらい図書館も休館したため、その期間の行事は、中止及び延期した。それ以外のおはなし会等の行事は行うことにより、読書に親しみ、図書館を身近に感じることができるよう環境作りを行えた。	子ども向けの本を、より一層充実させるとともに、定例おはなし会を継続実施するほか、今後も、こども未来館ほか関係課とも連携を図りながら、読書に親しめるような多様なイベントを開催し、子どもの読書活動の推進に取り組む。	コロナ禍における読書の有効性(黙・独)は周知のとおりである。これまでどおり、換気や手指消毒の徹底など十分な感染対策を講じた上で、座席数を減らし、間隔を空けて利用していただく。また、予約図書を受取るなどの活用により、図書館利用の機会を減らさずに、滞在時間を短くする方を講じる。	継続	中央図書館

第2次高松市創造都市推進ビジョンにおける取組について

【こどもプロジェクト】 恵まれた地域資源の中で想像力を育む

No.	主な取組事業名	主な取組事業概要	SDGs	R3決算額(千円) R4予算額(千円)	実施実績 (指標)	実施実績 (数値)	実施実績(数値)に 対するコロナの影響 内容	実施実績上昇率 (前年度/前々年 度)	令和3年度における成果 (コロナの影響や具体的な対応含む)	令和4年度事業内容	令和4年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	今後の方向 性	主管課 (関係部署)
11	劇団四季ミュージカル「こころの劇場」	高松市において実施される劇団四季「こころの劇場」ミュージカル公演について、本市並びに瀬戸・高松広域連携中枢都市圏域内の児童(小学6年生)を招待します。	4,17	決算額: 0千円 予算額: 0千円	鑑賞者数	【観客数/回数】 平成25年度 4,985人/1公演6回 平成26年度 5,323人/1公演6回 平成27年度 5,362人/1公演6回 平成28年度 5,303人/1公演5回 平成29年度 4,997人/1公演5回 平成30年度 5,144人/1公演5回 令和元年度 5,211人/1公演5回 令和2年度 中止 令和3年度 3,920人/映像配信	希望する小学校に動画配信により実施した。	—	新型コロナウイルス感染症の影響により、公演映像の配信に代えて実施した。	劇団が行う映像配信による公演鑑賞を実施する。	サンポートホール高松での公演を見送り、劇団が行う映像配信による公演鑑賞を実施する。	継続	文化芸術振興課

第2次高松市創造都市推進ビジョンにおける取組について

【工芸プロジェクト】伝統・芸術・デザインので新しい未来を拓く

No.	主な取組事業名	主な取組事業概要	SDGs	R3決算額(千円) R4予算額(千円)	実施実績 (指標)	実施実績 (数値)	実施実績(数値)に 対するコロナの影響 内容	実施実績上昇率 (前年度/前々年 度)	令和3年度における成果 (コロナの影響や具体的な対応含む)	令和4年度事業内容	令和4年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	今後の方向 性	主管課 (関係部署)
1	伝統的ものづくり 学校巡回教室	市内小・中学校へ伝統工芸の職人を派遣し、ワークショップ等を開催することで、高松の歴史を伴う伝統工芸に関する理解や関心を深めるとともに、情操教育の一助に寄与します。	4.8,9,12, 17	決算額:636千円 予算額:0円	参加者数/回数	平成26年度 404人/14回 平成27年度 360人/14回 平成28年度 280人/6回 平成29年度 138人/4回 平成30年度 299人/3回 令和元年度 268人/3回 令和2年度 262人/3回 令和3年度 147人/3回	影響なし	56.1%	感染拡大防止対策として、児童生徒と職人との距離を取るほか、マスク・フェイスシールドの着用、手指や道具の消毒などを行い、開催した。生徒数は昨年実績から大幅に減少しているが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響によるものではなく、実施校の生徒数が少なかったためであり、計画通り3校での開催はできている。 児童生徒の感想には、初めての体験で「ドキドキワクワクして本当に楽しかった」、職人の技を直接見て「強い思いを感じた」とあり、地域の伝統的ものづくりにふれあい、学ぶ場を提供し理解や関心を深めるとともに、地域への「誇り」や「愛着心」の醸成に寄与することができたと考えられる。	実施しない。	影響なし。	廃止	産業振興課
2	伝統的ものづくり 親子体験教室	夏休み期間中に小学生親子を対象として、伝統工芸品の制作体験を実施し、地域資源である伝統工芸について理解と関心を深めます。	4.8,9,12, 17	決算額:70千円 予算額:84千円	参加者数/回数	平成26年度 111人/4回 平成27年度 242人/10回 平成28年度 294人/10回 平成29年度 230人/8回 平成30年度 300人/12回 令和元年度 326人/12回 令和2年度 161人/12回 令和3年度 253人/10回	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、6コース開催予定のところ、1コースは中止となった。	157.1%	昨年度同様、1日1講座とし、感染症対策を講じながら実施をしていたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、6コース開催予定のところ、1コースは中止となった。 参加者への満足度調査では、事業開始以来最高となった昨年度に次ぐ高い評価となり、「初めて知った」「楽しかった」との声もあることから、伝統的ものづくりにふれあい、学ぶ体験の場とすることができており、理解や関心を深めることができた。	親子で地域の歴史・文化と共に受け継がれてきた伝統的ものづくりを学び体験することで、地域の資源としての文化やものづくりについての理解と関心を深めるとともに、内外へ発信出来る人を増加させることが出来るよう、継続して実施する。	昨年度同様、参加者間の距離を確保するため1日1講座とし、手指や道具、座席の消毒など感染症対策を講じながら実施する。	継続	産業振興課
3	たかまつ工芸 ウィーク	本市が誇る工芸品の展示や販売、工芸を体感する産地ツアーやワークショップなどを市内の店舗や施設で開催する。	4.8,9,12, 17	決算額:943千円 予算額:1,000千円	参加施設、店舗、 イベント数	令和元年度 42か所・イベント 令和2年度 41か所・イベント 令和3年度 49か所・イベント	影響なし	119.5%	新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため、集客型イベント、産地ツアーの開催が出来なかった。 若者向けの情報発信のため、InstagramやFacebookにて参加店舗やイベント等の情報発信を大学生の取材により行った。また、キックオフイベントをメディアや学生等を対象に実施した。 参加施設、店舗にてイベントやワークショップを行っており、継続して高松の工芸サイト(店舗や施設)同士がつながりあい、工芸に特化した期間をつくりあげることで、高松を工芸の発信地としてPRできている。	令和4年度も、関係団体等と実行委員会を立ち上げ、市内の店舗や施設同士が繋がりあい、工芸に特化した期間をつくることで、高松を工芸の発信地として広く内外にPRする。	集客型イベントや、産地ツアー等の開催は難しいため、実行委員会において、感染リスクが低く、かつPR効果の高い事業内容を検討する。	継続	産業振興課

第2次高松市創造都市推進ビジョンにおける取組について

【工芸プロジェクト】 伝統・芸術・デザインの力で新しい未来を拓く

No.	主な取組事業名	主な取組事業概要	SDGs	R3決算額(千円) R4予算額(千円)	実施実績 (指標)	実施実績 (数値)	実施実績(数値)に 対するコロナの影響 内容	実施実績上昇率 (前年度/前々年 度)	令和3年度における成果 (コロナの影響や具体的な対応含む)	令和4年度事業内容	令和4年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	今後の方向 性	主管課 (関係部署)
4	高松盆栽振興事業	平成28年度から高松盆栽の普及及び生産拡大の推進を図るために各種事業を実施します。 ○高松盆栽PR事業 盆栽大会への出展など、高松盆栽のPRを実施 ○盆栽産地振興事業 盆栽産地の振興を図るため、産地の活動を支援 ○盆栽輸出振興事業 盆栽の輸出の拡大を図るため、海外盆栽バイヤーとの商談会の開催及び輸出体制の整備を支援	8,9,11,15	決算額:6,637千円 予算額:一千円	商談会等の実施	【平成28年度】○高松盆栽のPRグッズ等を作成 ○海外盆栽バイヤーとの商談会を実施 【平成29年度】○平成29年4月にさいたま市で開催された世界盆栽大会に出展し、高松盆栽のPRを実施 【平成30年度】商談会の開催 2回(ベルギー、ドイツ) 【令和元年度】2回(バイヤーの出身国:イタリア、ドイツ) 【令和2年度】0回 【令和3年度】0回	新型コロナウイルス感染症の影響により、海外バイヤーとの商談会は、実施できなかった。	—	観光交流課に執行委任し、観光PRツールへのを行うことにより高松盆栽のPRを実施したとともに、盆栽生産者等に対し、大市及び小学校等への盆栽教室の開催支援等を行い、産地の活動を支援した。 また、輸出の戦略的な推進を目的として、海外の植物検疫条件に対応するための輸出基盤強化として排水設備の整備等の生産体制を強化した。	No.5の高松盆栽産地ブランド確立事業へ統合する。	商談会については、盆栽生産者と連携して、香川県産品振興課が実施するオンライン商談会の活用を図る。	統合	農林水産課
5	高松盆栽の郷推進事業 (令和4年度～高松盆栽産地ブランド確立事業)	平成29年度に策定した「高松盆栽の郷」基本構想に基づき、盆栽産地(鬼無・国分寺地区)の伝統的な盆栽文化の一層の普及・定着による「高松盆栽の郷」の産地そのもののブランド化を図るため、4つの基本方針に基づき香川県と連携しながら総合的な産地振興に取り組んでいきます。 ○国内需要の拡大 新たな需要創出に向けた取組、盆栽の文化や魅力を伝えるための情報発信・PR活動 ○輸出の拡大 輸出量増加のための取組、輸出基盤の強化や販路拡大への取組、盆栽の文化や魅力を伝えるための情報発信・PR活動 ○産地基盤の強化 盆栽後継者の育成のための取組、生産・販売の基盤強化のための取組 ○高松盆栽の郷づくり 「高松盆栽の郷」基本構想に基づくツーリズム等の取組、「高松盆栽の郷」の核となる拠点施設の整備	8,9,11,15	決算額:13,671千円 予算額:8,894千円	「高松盆栽の郷」売上高	令和2年度 23,329千円 令和3年度 29,665千円	新型コロナウイルス感染症の長期化の影響は受けながらも、売上高増加に繋がるウィズコロナの取組を行い、実施実績は増加した。	127.2%	魅力発信及び産地の情報発信機能強化として、「高松盆栽の郷フェスタ」の開催、「高松盆栽学校」の実施及び新型コロナウイルス感染症の影響に伴う消費行動の変化に対応し、オンライン販売体制を構築するための高松盆栽公式HPとリンクしたECサイトを新設した。 また、研修施設「盆栽の匠」においては、研修生の来日が中止になるなど新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けたが、広報掲載や国内で開催される盆栽イベントにおいて研修生募集の周知を行った。	No.4の高松盆栽振興事業を統合し、県と連携して、高松盆栽の輸出拡大による盆栽産地活性化対策を推進するとともに、拠点施設「高松盆栽の郷」を核とした盆栽ツーリズム等の取組に対する支援を行い、国内外に高松盆栽の産地ブランドの確立を図る。	イベント等については、引き続きオンライン開催を視野に入れた対応を行うとともに、アフターコロナにおいて誘客促進に繋がるような取組を実施する。	改善継続	農林水産課
6	むれ源平石あかりロード	地元庵治石の普及振興を始め、地域の賑わいづくりを目的として始めた事業で、市としては、源平屋島地域活性化事業を通して、後援しています。 「庵治石のあかり」を道路沿いに配置して、源平史跡を巡るイベントで、庵治石とデザイン、史跡を融合した産業観光視点のイベントとして開催されており、期間中の毎週土曜日に限定したライブ等の多彩なイベントを始め、企画展示や観覧参加者が審査するコンテストの実施など、毎年、県内外から多数の参加者を集める事業として注目されています。	8	決算額:1,060千円 予算額:1,060千円	来場者数	平成25年度 75,000人 平成26年度 52,000人 平成27年度 75,000人 平成28年度 80,000人 平成29年度 75,000人 平成30年度 60,000人 令和元年度 70,000人 令和2年度 中止 令和3年度 中止	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、イベントは中止となったが、映像作品を配信した。	—	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、来場者の安全確保が困難であるため、対面での開催を中止し、WEB上で映像作品の配信を行った。	地元庵治石の普及振興を始め、地域の賑わいづくりを目的として、「庵治石のあかり」を道路沿いに配置し、源平史跡を巡るイベントの実施を検討しているが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を徹底することができない場合は中止する。	引き続き、新型コロナウイルスの感染状況に十分配慮しながら、事業の実施形態や取組方針について検討する。	継続	観光交流課

第2次高松市創造都市推進ビジョンにおける取組について

【食プロジェクト】豊富な食文化と異文化との融合

No.	主な取組事業名	主な取組事業概要	SDGs	R3決算額(千円) R4予算額(千円)	実施実績 (指標)	実施実績 (数値)	実施実績(数値)に 対するコロナの影響 内容	実施実績上昇率 (前年度/前々年度)	令和3年度における成果 (コロナの影響や具体的な対応含む)	令和4年度事業内容	令和4年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	今後の方向 性	主管課 (関係部署)
1	人・農地プラン推進事業	地域での話し合いに基づく「人・農地プラン」の作成・実行により、農地集積・集約化や新規就農・経営継承を促し、農業の体質強化を図ります。 また、国の事業等を活用し、新規就農者等の担い手の定着による地域農業の活性化を図ります。	8,9,11,15	決算額:0千円 予算額:0千円	人・農地プランの作成地区数	平成25年度 30地区 平成26年度 31地区 平成27年度 32地区 平成28年度 32地区 平成29年度 32地区 平成30年度 32地区 令和元年度 32地区 令和2年度 33地区 令和3年度 33地区	各地区協議会内でのプラン検討会等は減少したが、作成地区数に影響はなかった。	100.0%	令和3年度当初に人・農地プラン実質化協議を行い、全ての地区において人・農地プランの実質化を行った。 ただ、その後コロナ感染対策等により、人・農地プランに則った農地利用集約化の推進等の協議などは行えなかった。	令和4年度に想定されている「人・農地プラン」の法定化により、ルールとして継続的に取り組むべきものと位置付け、プランの更新を行うことにより地域農業の活性化を図る。 また、関係諸機関(香川県、農業委員会、香川県農地機構等)と連携し、今後求められる地域が目指すべき将来の具体的な農地利用の姿(「目標地図」)の作成に取り組み、農地集積・集約化や新規就農・経営継承を促し、農業の体質強化を図る。 また、国の事業等(農業次世代人材投資資金等)を活用し、新規就農者等の担い手の定着による地域農業の活性化を図る。	「人・農地プラン」の更新及び「目標地図」の作成には地域での話し合いが不可欠であるため、新型コロナウイルス感染拡大に細心の注意を払い、検討会を行う。	継続	農林水産課
2	高松ブランド農産物育成支援事業	消費者との地産地消を基本とした共生型農業を推進するため、市内で生産された新鮮で良質な農産物や加工品を「高松産ごじまん品」として市民に提供するとともに、情報発信や農業体験教室、料理教室等の開催を通じて市内農産物の需要拡大と市民の健康で豊かな食生活の実現を図ります。 今後も、食育・地産地消の推進、農産物のブランド化を推進するため、継続して事業を行っていきます。	8,9,11,15	決算額:1,810千円 予算額:3,000千円	高松産ごじまん品関連イベント ・ たかまつ食と農のフェスタ ・ おにぎり教室(保育園・幼稚園を対象) ・ 野菜塾 ・ 料理教室 ・ 農産物のPR(試食・販売等) など	平成25年度 46回 平成26年度 49回 平成27年度 46回 平成28年度 47回 平成29年度 36回 平成30年度 36回 令和元年度 36回 令和2年度 6回 令和3年度 8回	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により多くのイベントが中止となった。	133.3%	JA香川県と連携し、農産物のPR、地産地消、食育活動等の推進を図った。 また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で多くのイベントが中止となったが、ウィズコロナでイベントを開催する方法を模索したり、アフターコロナを見据えたイベントの準備を行うことができた。	JA香川県等と連携し、農産物のPR、地産地消・食育、及び6次産業化・農工商連携の推進を図る。	新型コロナウイルス感染症の影響を見極めた上で、各種取組を実施する。	継続	農林水産課
3	たかまつ市場フェスタ事業	高松市民の台所としての卸売市場の役割や流通の仕組みを広く市民に周知・啓発するとともに、生鮮食料品等の流通の円滑化と消費拡大を図るため、市民と卸売市場との交流の機会を確保しています。	2,12,14	決算額:2,000千円 予算額:2,000千円	来場者数	平成25年度 17,000人 平成26年度 17,500人 平成27年度 18,000人 平成28年度 18,500人 平成29年度 19,000人 平成30年度 20,000人 令和元年度 23,000人 令和2年度 中止 令和3年度 中止	感染拡大の収束の見通しが立たないため、令和3年度の開催は中止とした。	開催を中止した。	新型コロナウイルス感染症の影響により、開催を中止した。一方で、高松市卸売市場紹介動画等制作及び市場紹介スペース構築の支援や、関連商品売場棟活性化推進事業を行うことで、市場の活性化を推進した。	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じるほか、市民の満足度を維持できるようICTの活用等イベントの内容を見直しながら事業を継続し、市場の認知度向上及び生鮮食料品の消費拡大を図る。	イベントの内容を見直し、密にならないための来客者同士の距離の確保及び動線を整備するとともに、アルコール消毒等の徹底を行いながら、イベントを開催する。	継続	市場管理課

第2次高松市創造都市推進ビジョンにおける取組について

【食プロジェクト】豊富な食文化と異文化との融合

No.	主な取組事業名	主な取組事業概要	SDGs	R3決算額(千円) R4予算額(千円)	実施実績 (指標)	実施実績 (数値)	実施実績(数値)に 対するコロナの影響 内容	実施実績上昇率 (前年度/前々年度)	令和3年度における成果 (コロナの影響や具体的な対応含む)	令和4年度事業内容	令和4年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	今後の方向 性	主管課 (関係部署)
4	市場特別開放事業	普段は、許可を受けた人しか入場できない卸売市場で、お買い物をしていただくことにより、高松市民の台所としての卸売市場の役割を知っていただくとともに、市民に親しまれ、市民に開かれた市場づくりを推進しています。	2.12.14	決算額:0千円 予算額:832千円	実施回数/来場者数	平成25年度 5回/6,900人 平成26年度 5回/5,800人 平成27年度 5回/5,000人 平成28年度 5回/5,200人 平成29年度 5回/5,100人 平成30年度 5回/5,300人 令和元年度 4回/4,400人 令和2年度 中止 令和3年度 中止	感染拡大の収束の見通しが立たないため、令和3年度の開催は中止とした。	開催を中止した。	令和3年度における成果(コロナの影響や具体的な対応含む)	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じるほか、市民の満足度を維持できるようICTの活用等イベントの内容を見直しながら事業を継続し、市場の認知度向上及び生鮮食料品の消費拡大を図る。	イベントの内容を見直し、密にならないための来客者同士の距離の確保及び動線を整備するとともに、アルコール消毒等の徹底を行いながら、イベントを開催する。	継続	市場管理課
5	市場DE自由研究事業	小学生及びその保護者を対象に、市場の流通の仕組みや機能を、夏休みにおける自由研究の題材として提供することにより、市場の役割等の知識を深めます。今後は、市場をより身近に感じていただけるような事業展開とともに、引き続き、市場流通の拡大につながるよう地産地消の題材も取り入れていきます。	2.12.14	決算額:120千円 予算額:150千円	実施回数/参加者数	平成25年度 6回/226人 平成26年度 6回/218人 平成27年度 6回/202人 平成28年度 6回/194人 平成29年度 6回/180人 平成30年度 6回/181人 令和元年度 6回/162人 令和2年度 中止 令和3年度 3回/85人	新型コロナウイルス感染症対策のため、例年に対して規模を半分に縮小して事業を実施した。	—	当日受付での検温及び手指消毒の実施、マスク着用の励行、例年行っていた試食を取りやめる等の感染防止対策を講じたほか、規模を半分に縮小して事業を実施した。	令和3年度においては、各部1回の開催に対して2倍以上の応募があったため、令和4年度は各部2回の計6回実施で検討する。	令和3年度に引き続き、検温や消毒、体調管理等の感染核防止対策を十分に講じ、感染状況を見極めながら事業を実施する。	継続	市場管理課

第2次高松市創造都市推進ビジョンにおける取組について

【交流プロジェクト】 地域を通して世界につながる交流へ

No.	主な取組事業名	主な取組事業概要	SDGs	R3決算額(千円) R4予算額(千円)	実施実績 (指標)	実施実績 (数値)	実施実績(数値)に 対するコロナの影響 内容	実施実績上昇率 (前年度/前々年 度)	令和3年度における成果 (コロナの影響や具体的な対応含む)	令和4年度事業内容	令和4年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	今後の方向 性	主管課 (関係部署)
1	2021ジャパンパラ 陸上競技大会	令和3年4月24日(土)、25日(日)に屋島レクザムフィールドで大会を開催し、障がい者スポーツの推進に取り組むとともに、子ども達への心のバリアフリー醸成や共生社会の実現に努めます。	3,4,10,17	決算額: 3,689千円 予算額: - 千円				—	市内高校生や専門学生による書道作品、パラ選手への応援メッセージのポスター作品の制作、展示のほか、市内未就学園児の手話による選手への応援動画を作成し、大会当日競技場内の大型映像装置で放映した。	実施予定なし	影響なし	継続	スポーツ振興課
2	観光客受入環境 整備事業	観光客等の満足度向上を図るため、無線LAN等の環境整備や観光案内板を整備して情報提供を行うほか、産学官が連携して外国人観光客の受入環境の整備事業に取り組む。	8,14,15,17	決算額: 4,854千円 予算額: 4,626千円	市内の主な観光施設等利用者数	平成25年度 6,315千人 平成26年度 6,509千人 平成27年度 6,655千人 平成28年度 6,934千人 平成29年度 6,816千人 平成30年度 6,595千人 令和元年度 6,759千人 令和2年度 3,946千人 令和3年度 3,726千人	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための移動制限や外国人の入国制限の影響を受けたことから、施設等利用者数が伸びなかった。	94.4%	フリーWi-Fiである「かがわWi-Fi高松」を引き続き、中心市街地に面的に整備し、運用保守を行ったほか、「高松外国人観光客お助け隊」が作成した指差しシートや高松駅から高松港までの道案内動画を、本市観光サイト「エクスペリエンス高松」に掲載して、市民・観光客の間での活用を図った。	引き続き、フリーWi-Fiである「かがわWi-Fi高松」を中心市街地に面的に整備し、運用保守を行うほか、「高松外国人観光客お助け隊」が作成した指差しシートや道案内動画を、本市観光サイト「エクスペリエンス高松」に掲載して、市民・観光客の間での活用を図る。	新型コロナウイルス感染症の状況を考慮しながら、「高松外国人観光客お助け隊」の声掛け活動を実施するかどうか決定する。	継続	観光交流課
3	魅力にあふれ、人が輝く創造都市 推進事業	本市の創造都市の取組に関して、審議会・懇談会を開催し、御意見をいただくとともに、創造都市ネットワーク日本に参加し、参加都市間の交流を図ることにより、本市の創造性を高める。	11,17	決算額: 602千円 予算額: 1,244千円	「高松市創造都市推進局フェイスブックページ」いいね!の数	平成26年度 2,726 平成27年度 3,555 平成28年度 4,138 平成29年度 4,388 平成30年度 4,585 令和元年度 4,950 令和2年度 5,049 令和3年度 5,070	影響なし	100.4%	新型コロナウイルス感染症の感染拡大期においては、WEB会議での開催及び出席を原則としながら、創造都市推進審議会や創造都市推進懇談会において、本市の活性化に資する御意見をいただきつつ、創造都市ネットワーク日本の事業に参加し、他都市の事例等について、積極的に情報交換を行った。	高松市創造都市推進審議会や高松市創造都市推進懇談会(U40)において、本市の活性化に資する御意見をいただきつつ、創造都市ネットワーク日本(CCNJ)の事業に参加し、他都市の事例等について、積極的に情報交換を行う。	審議会及び懇談会(U40)については、新型コロナウイルス感染拡大期においては、非対面型によるWEB会議での開催及び出席を原則とする。 創造都市ネットワーク日本(CCNJ)の事業の参加方法については、現地開催とオンライン開催を併用していることから、新型コロナウイルス感染拡大状況も注視しつつ、参加方法をその都度、検討する。	継続	産業振興課

第2次高松市創造都市推進ビジョンにおける取組について

【交流プロジェクト】 地域を通して世界につながる交流へ

No.	主な取組事業名	主な取組事業概要	SDGs	R3決算額(千円) R4予算額(千円)	実施実績 (指標)	実施実績 (数値)	実施実績(数値)に 対するコロナの影響 内容	実施実績上昇率 (前年度/前々年 度)	令和3年度における成果 (コロナの影響や具体的な対応含む)	令和4年度事業内容	令和4年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	今後の方向 性	主管課 (関係部署)
4	専門職短期大学 設置支援事業	地域の活性化を担う人材の輩出や、若者の県外流出の抑制等を図るため、高松市公共施設再編整備計画(1次)案において、有識者等の意見を反映した総合評価で「2022年度末までに売却を含めた廃止を検討する」とされていた高松テルサの跡施設を有効活用し、学校法人穴吹学園が構想する「専門職短期大学」の設置を支援します。	4.8,17	決算額:4,904千円 予算額:0千円	専門職短期大学 入学手続完了者 数	令和3年度12人	新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により、観光分野への進学が減少しているものと考えられ、目標を達成することができなかった。	—	専門職短期大学設置者に対して、土地、建物を貸与したほか、ホールなどの天井改修工事に向け、工法の検討業務委託を実施した。	高松テルサ跡施設について、引き続き、学校法人穴吹学園に貸付する。	影響なし	継続	産業振興課
5	創造支援センター 運営事業	本市における特色ある事業の創出及び地域産業の振興に寄与するため、四番丁スクエア内に、創造性に富む発想や独自性のある技術を活用した新規事業者等の活動拠点としてのインキュベーター施設(全6部屋)を設置・運営している。	9	決算額:289千円 予算額:382千円			—	—	全6室のうち、新たに1室において新規使用者が決定し、現在満室である。引き続き、創造性に富む発想や独自性のある技術を活用した新規事業者等の活動拠点としての機能を果たしている。	継続して事業を実施する。	影響なし	継続	産業振興課
6	グリーン・ツーリズム 推進事業	市内のグリーン・ツーリズムの推進を図るため、グリーン・ツーリズム実践者の活動を支援する。	8.9,11,15	決算額:175千円 予算額:0千円					新型コロナウイルス感染症の感染拡大の長期化により、売り上げが落ち込んでいる施設のパンフレットを配布したり、マルシェを開催する活動を行う高松市グリーン・ツーリズム協議会に対し支援を行った。また、新たに農林漁家民宿を始める施設に対し、防火施設整備の支援を行った。	市内のグリーン・ツーリズムの推進を図るため、グリーン・ツーリズム実践者の活動を支援する。	新型コロナウイルス感染症の影響を見極めた上で、各種取組を実施する。	継続	農林水産課
7	ため池景観整備 維持管理事業	ため池景観整備事業等で実施した施設、樹木等の維持管理に関する協定を締結した法人または市長が認める団体に対して補助金を交付し、当該施設等の適正な維持管理を図る。	6.9,15	決算額:9,932千円 予算額:9,932千円	地区数/補助金	平成25年度 17地区/ 7,697,300円 平成26年度 17地区/ 7,819,500円 平成27年度 17地区/ 8,269,600円 平成28年度 17地区/ 8,135,800円 平成29年度 16地区/ 7,940,600円 平成30年度 16地区/ 8,252,500円 令和元年度 16地区/ 8,494,600円 令和2年度 16地区/ 9,662,600円 令和3年度 16地区/ 9,931,900円	影響なし	102.8%	当該施設の景観の維持を行うことにより、来客者及び地域住民の安らぎを与えた。	引き続き、事業実施に係る支援を行い、当該施設等の適正な維持管理を図る。	活動団体ごとに感染防止に留意しながら取り組んでいる。	継続	土地改良課

第2次高松市創造都市推進ビジョンにおける取組について

【交流プロジェクト】 地域を通して世界につながる交流へ

No.	主な取組事業名	主な取組事業概要	SDGs	R3決算額(千円) R4予算額(千円)	実施実績 (指標)	実施実績 (数値)	実施実績(数値)に 対するコロナの影響 内容	実施実績上昇率 (前年度/前々年 度)	令和3年度における成果 (コロナの影響や具体的な対応含む)	令和4年度事業内容	令和4年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	今後の方向 性	主管課 (関係部署)
8	高松城跡(玉藻公園)をいかした観光振興事業	重要文化財の指定を受けた披雲閣を中心とし、高松城跡(玉藻公園)の観光拠点としての知名度向上及び観光客の増加を図るため、バーチャル高松城の活用や和船体験事業等の事業を行うとともに庭園のライトアップ等、ナイト観光を充実させるイベントを実施。	8,14,15,17	決算額:4,159千円 予算額:4,659千円	入園者数	平成25年度玉藻公園入園者数 178,776人 平成26年度玉藻公園入園者数 194,026人 平成27年度玉藻公園入園者数 218,264人 平成28年度玉藻公園入園者数 238,146人 平成29年度玉藻公園入園者数 228,385人 平成30年度玉藻公園入園者数 202,161人 令和元年度玉藻公園入園者数 229,439人 令和2年度玉藻公園入園者数 82,966人 令和3年度玉藻公園入園者数 79,634人	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための移動制限や外国人の入国制限の影響を受けたことから、入園者数が伸びなかった。	96.0%	バーチャル高松城や和船体験事業を引き続き実施するとともに、文化庁の「令和3年度ウィズコロナに対応した文化資源の高付加価値化促進事業」として「讃岐ReMIXプロジェクト」を実施した。	バーチャル高松城や和船体験事業の実施やMICEユニークメニューやエクスカージョンの活用働きかけを行うとともに、「讃岐ReMIXプロジェクト」については、瀬戸内国際芸術祭会期中に創作品の展示・体験するEXHIBITIONイベントを実施する等によって、夜型観光や文化観光を推進するとともに、同プロジェクトのブランディング及び自走化を図る。	新型コロナウイルス感染症の状況を考慮しながら、事業の実施形態を検討する。	継続	観光交流課
9	屋島山上拠点施設整備事業	屋島の多様な特性・価値を深く知るための機会を提供し、より多くの人に愛着を持ってもらうため、屋島山上に誰もが気軽に立ち寄り、屋島の歴史、文化、自然環境等について学び、交流することができる拠点施設を整備します。	8	決算額:831,336千円 予算額:201,693千円	屋島入込客数	平成26年度 511,577人 平成27年度 504,399人 平成28年度 506,682人 平成29年度 498,696人 平成30年度 494,984人 令和元年度 531,485人 令和2年度 336,510人 令和3年度 375,232人	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、大幅に入込客数が落ち込んだ令和2年度と比べ、客足は戻りつつあるが、コロナ禍前の入込客数までは回復していない。	111.5%	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、一部工程に遅延が生じたものの、着実に工事を進め、建物部分をしゅん工した。 また、施設管理を行う指定管理者の公募を実施し、3月に管理者を決定し、現在は供用開始に向けた調整を行っている。	屋島山上交流拠点施設の工事を完了させるとともに、屋島の活性化が図られるよう、オープン前から指定管理者と十分に連携を図り、オープン初年度の施設運営を行っている。	引き続き、工事現場等における新型コロナウイルス感染症防止策を講じながら、建設工事を着実に進め、竣工まで進める。 また、施設の管理運営について、新型コロナウイルス感染症対策を万全に行えるよう、指定管理者と事前に協議し、安全な施設運営を実現する。	継続	観光交流課
10	屋島活性化推進事業	屋島の活性化に向け、屋島の有する特性・価値を将来にわたり継承しつつ、市民を始め、屋島を訪れる人々に広く知ってもらうため、「屋島活性化基本構想」に基づく事業を実施し、屋島を世界に誇れる本市のシンボルとして再生します。 この事業の一つとして、山上を訪れる人々に屋島を知ってもらうため、人が集まり、学び、楽しみ、交流できる拠点となる屋島山上拠点施設を整備します。 また、屋島ドライブウェイの無料化・市道化により、屋島に気軽に訪れることのできる環境づくりが図られていることから、より一層屋島山上への誘客を推進していきます。 さらに、屋嶋城跡城門遺構を整備するとともに平成28年3月に一般公開を開始し、屋島の歴史の掘りおこしと情報発信を行っています。 平成29年に完成した屋島レクザムフィールドについては、四国大会等の陸上競技大会が開催可能であり、棒高跳の公認競技が可能な室内競技場を全国で初めて併設しています。	8	決算額:909,653千円 予算額:258,570千円(屋島山上拠点施設整備、屋島山上ライブイベント～天空ミュージック～、むれ源平石あかりロードに係る費用を含む。)	屋島入込客数	平成26年度 511,577人 平成27年度 504,399人 平成28年度 506,682人 平成29年度 498,696人 平成30年度 494,984人 令和元年度 531,485人 令和2年度 336,510人 令和3年度 375,232人	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、大幅に入込客数が落ち込んだ令和2年度と比べ、客足は戻りつつあるが、コロナ禍前の入込客数までは回復していない。	111.5%	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、源平屋島地域運営協議会による地域のまつりや各種イベントは一部中止となったが、開催できるイベント等については、十分な感染対策を講じながら開催したほか、観光PR動画の作成等による屋島地域の情報発信に努めた。	源平屋島地域運営協議会において、源平屋島地域のまつり・各種イベントを補助・共同宣伝することにより、源平屋島地域全体の活性化やにぎわいの創出、誘客の促進に努める。また、バス運行事業者による屋島山上シャトルバス運行事業への補助や屋島観光パンフレットの作製を行い、源平屋島地域への観光客の誘致を図るとともに、屋島周辺の観光施設への周遊を促す取組を行いながら、屋島に対する関心を広く醸成する。	感染拡大防止対策を十分に講じたイベントの開催方法を検討しながら、源平屋島地域のまつり・各種イベントを補助・共同宣伝することにより、源平屋島地域全体の活性化やにぎわいの創出、誘客の促進に努め、今後の協議会の在り方について検討する。 また、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえたシャトルバス運行事業等の対応も含めて、屋島山上交流拠点施設の管理運営を通して、協議会との密な連携や役割分担の体制及び屋島地域の全体的なエリアマネジメントを検討する。	継続	観光交流課

第2次高松市創造都市推進ビジョンにおける取組について

【交流プロジェクト】 地域を通して世界につながる交流へ

No.	主な取組事業名	主な取組事業概要	SDGs	R3決算額(千円) R4予算額(千円)	実施実績 (指標)	実施実績 (数値)	実施実績(数値)に 対するコロナの影響 内容	実施実績上昇率 (前年度/前々年 度)	令和3年度における成果 (コロナの影響や具体的な対応含む)	令和4年度事業内容	令和4年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	今後の方向 性	主管課 (関係部署)
11	屋島山上ライブイベント～天空ミュージック～	「食」と「音楽」による屋島山上への誘客を目的とし、「屋島夕夜景フェスタ」の開催期間中のいずれかの金・土曜日に、屋島山上において、著名なミュージシャン等による音楽ライブを実施する。	8	決算額:2,380千円 予算額:2,380千円	来場者数	平成26年度 1,450人 平成27年度 1,110人 平成28年度 1,020人 平成29年度 1,280人 平成30年度 1,100人 令和元年度 1,430人 令和2年度 中止 令和3年度 中止	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、イベントは中止となったが、映像作品を撮影した。	—	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、来場者の安全の確保が困難であるため、対面での開催を中止し、WEB上で映像作品の配信を行った。	「食」と「音楽」による屋島山上への誘客を目的とし、屋島山上において、著名なミュージシャン等による音楽ライブの実施を検討しているが、参加者や来場者の安全性が確保できない場合は中止する。	感染拡大防止対策を十分に講じた上で、オンライン配信を含めた事業の実施形態や開催方針について検討する。	継続	観光交流課
12	温泉をいかした塩江地域の観光振興事業	観光客のニーズや嗜好、競争環境の変化等に的確に対応し、地域を持つ魅力を向上させて塩江地域の活性化を図るため、塩江温泉郷観光活性化基本構想に基づき、温泉をいかした塩江地域の観光振興に努めます。	11	決算額:322,618千円 予算額:314,097千円	塩江温泉郷観光入込客数	平成25年度 59,392人 平成26年度 64,785人 平成27年度 68,150人 平成28年度 69,039人 平成29年度 70,010人 平成30年度 65,944人 令和元年度 66,726人 令和2年度 32,852人 令和3年度 31,986人	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、宿泊客数が前年度に引き続き落ち込んだ。	97.4%	「高松市塩江道の駅エリア整備基本計画」に基づき、整備に係る設計に関する業務委託を行い、用地取得、既存施設の解体工事の着手を行った。	塩江温泉郷観光活性化基本構想に基づく事業の推進を図るとともに、高松市塩江道の駅エリア整備基本計画、各設計等業務の成果に基づき、道の駅エリアの各種工事を着手していく。	塩江温泉郷観光活性化基本構想・高松市塩江道の駅エリア整備基本計画、各整備設計等業務の成果に基づき、道の駅エリアの各種工事を始めるとともに、持続可能な管理運営体制の構築に向けた検討を進める。	継続	観光交流課
13	誘客促進事業	本市への誘客を促進するため、香川県と連携し、高松空港への直行便が就航している台北、上海、ソウル、香港及び成田を対象に観光キャンペーンなどを実施するほか、多言語対応可能な観光案内所の運営や、クルーズ客船の受入事業を行う。また、広島市、松山市、岡山市及び本市の4市で構成する「瀬戸内4県都市長会」で観光客誘致事業を実施するとともに、(公財)高松観光コンベンション・ビューローを通じて、国内外からの観光客の本市での滞在の促進に取り組む。	8	決算額:46,422千円 予算額:153,621千円	観光案内所利用者数(外国人)／ 観光関連施設等利用者数	平成25年度 -人／ 6,315千人 平成26年度 -人／ 6,509千人 平成27年度 -人／ 6,655千人 平成28年度 18,597人／ 6,934千人 平成29年度 18,313人／ 6,816千人 平成30年度 23,164人／ 6,595千人 令和元年度 22,566人／ 6,570千人 令和2年度 524人／3,946 千人 令和3年度 409人／3,725 千人	新型コロナウイルス感染症の影響により、海外路線が運休となったため観光案内所の利用者数は減少した。	観光案内所利用者数(外国人) 78.1%／観光関連施設等利用者数94.4%	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、海外路線が運休となったため、旅行博等が中止となったため、WEBやSNSを使ったプロモーションを実施した。また、4県都市長会事業では、4市の認知度向上と魅力の発信を目的とした観光PR動画を制作した。また都市圏において瀬戸内の魅力を発信する4市共同のイベントを実施した。 バスでの団体旅行への補助については、従来のターゲットであるインバウンドから、国内にシフトさせ、また、新たに修学旅行に対する助成を実施した。	県と連携し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で休止している東アジア4路線、国内線(成田線)の路線維持を図る。また、外国人観光客の利便性向上のため、常時多言語対応可能な観光案内所の運営を行う。瀬戸内4県都市長会では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、自然体験やマイクロツーリズムなどの「新しい観光」スタイルが目目されているため、4市が連携し、自然、体験、食などの観光資源の魅力を発信し、4市への来訪意欲を高め、更なる誘客促進と観光消費額の増加を図る。	東アジア4路線や国内線(成田線)が休止している場合は、WEBやSNSを活用したプロモーションを実施する。 (公財)高松観光コンベンション・ビューローを通じた団体旅行補助については、引続き修学旅行を中心に実施し、本市滞在の促進に取り組む。	継続	観光交流課

第2次高松市創造都市推進ビジョンにおける取組について

【交流プロジェクト】 地域を通して世界につながる交流へ

No.	主な取組事業名	主な取組事業概要	SDGs	R3決算額(千円) R4予算額(千円)	実施実績 (指標)	実施実績 (数値)	実施実績(数値)に 対するコロナの影響 内容	実施実績上昇率 (前年度/前々年 度)	令和3年度における成果 (コロナの影響や具体的な対応含む)	令和4年度事業内容	令和4年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	今後の方向 性	主管課 (関係部署)
14	さぬき高松まつり	四国の四大祭りの一つとして、また、讃岐路の真夏の夜を彩る祭典として、市民をはじめ多くの観光客にも親しまれており、「ものっそ高松」を合言葉に、「瀬戸の都・高松」にふさわしい一大イベントとして、中央公園・中央通り・サンポート高松をメイン会場に、盛大に開催する。	8	決算額: 0千円 予算額: 52,823千円	入込客数	平成25年度 650,000人 平成26年度 620,000人 平成27年度 650,000人 平成28年度 620,000人 平成29年度 610,000人 平成30年度 580,000人 令和元年度 210,000人 令和2年度 中止 令和3年度 中止	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響によりイベントが中止となった。	—	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響によりイベントが中止となった。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた国のガイドラインの留意事項を踏まえ、第55回のさぬき高松まつり、花火大会を除き、12日から14日の3日間、中央公園お祭り広場でのイベント及び総おどりを実施する。なお、荒天の場合、中央公園お祭り広場のイベントは、一部スケジュールを変更して実施し、総おどりは中止する。	花火大会については、観覧者の過密が避けられず、実効性のあるコロナ対策を講じることが困難であるため開催中止とする。中央公園お祭り広場でのイベント及び総おどりは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた国のガイドラインの留意事項を踏まえ、感染対策を講じた上で参加者や来場者の安全性確保に努め、実施する。	継続	観光交流課
15	高松秋のまつり・仏生山大名行列	高松の四季を表すまつりの一つとして、市民をはじめ、多くの観光客にも親しまれるまつりを目指すとともに、中心会場となる高松南部地域の活性化に寄与する。	8	決算額: 0千円 予算額: 9,071千円	入込客数	平成25年度 130,000人 平成26年度 150,000人 平成27年度 145,000人 平成28年度 145,000人 平成29年度 117,000人 平成30年度 155,000人 令和元年度 160,000人 令和2年度 中止 令和3年度 中止	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響によりイベントが中止となった。	—	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響によりイベントが中止となった。	高松市立仏生山公園や仏生山商店街を会場に、大名行列のほか、野外劇場やよろず処、黒門市等さまざまな催しを検討しているが、参加者や来場者の安全性が確保できない場合は中止する。	第27回高松秋のまつり・仏生山大名行列は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた国のガイドラインの留意事項を踏まえた上で、実施の方向で準備を進めている。	継続	観光交流課
16	高松まちかど漫遊帖	本実行委員会において、ガイドブック「高松まちかど漫遊帖」を春と秋の2回計画し、4月頃～6月頃までの期間において春編を、10月頃～12月頃までの期間において秋編を毎年開催している。	8	決算額: 1,556千円 予算額: 1,849千円	参加者数	【開催回数/延べコース数/延べ参加者数】 平成25年度 2回/44コース/476人 平成26年度 2回/33コース/385人 平成27年度 2回/47コース/562人 平成28年度 2回/47コース/455人 平成29年度 2回/48コース/469人 平成30年度 2回/51コース/500人 令和元年度 2回/62コース/499人 令和2年度 2回/24コース/133人 令和3年度 2回/39コース/314人	感染防止対策として各コースの参加上限人数を制限したため、一定数の参加希望を断らざるを得なかった。	236.1%	春編と秋編の2回、インターネットやSNSと連動した、まち歩きパンフレットを作成する。 また実施の際には「3密」回避の徹底や動画配信サービス等の利用により、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に最大限留意する。	春編と秋編の2回、インターネットやSNSと連動した、まち歩きパンフレットを作成する。 また実施の際には「3密」回避の徹底や動画配信サービス等の利用により、新型コロナウイルス感染症拡大防止に最大限留意する。	コース催行前のアルコール消毒、検温を徹底し、発熱・体調不良の参加者に関しては、漫遊帖への参加を控えていただくようにする。 万が一の場合に備え、参加者に連絡を行うことのできるよう、参加者の名前・住所・連絡先を記録する。 その他、県が定めた「感染防止策チェックリスト」の内容に準拠し、コースを催行する。	継続	観光交流課

第2次高松市創造都市推進ビジョンにおける取組について

【交流プロジェクト】 地域を通して世界につながる交流へ

No.	主な取組事業名	主な取組事業概要	SDGs	R3決算額(千円) R4予算額(千円)	実施実績 (指標)	実施実績 (数値)	実施実績(数値)に 対するコロナの影響 内容	実施実績上昇率 (前年度/前々年 度)	令和3年度における成果 (コロナの影響や具体的な対応含む)	令和4年度事業内容	令和4年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	今後の方向 性	主管課 (関係部署)
17	SETOUCHI SUMMER NIGHT FESTIVAL	「アート県・香川」としてのイメージを定着させるとともに、交流人口の拡大を目的として、瀬戸内海を臨むウォーターフロントの特性を生かし、アート色豊かなイベントを開催する。	8	決算額:499千円 予算額:0千円	来場者数	平成26年度 35,000人 平成27年度 52,000人 平成28年度 20,300人 平成29年度 31,250人 平成30年度 32,111人 令和元年度 38,340人 令和2年度 中止 令和3年度 中止	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響によりイベントが中止となった。	—	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響によりイベントが中止となった。	サンポート地区では新県立体育館等の施設整備が進んでおり、新たな環境を生かしたにぎわいづくり等を検討する必要があるため、このイベントについては、令和4年度以降は開催しないこととなった。		廃止	観光交流課
18	MICE振興事業	本市が有するMICE開催に必要な機能の更なる充実や有機的な連携を図ることにより、高松ならではのMICE誘致を展開するため、MICE振興戦略に基づく施策を推進する。	8.17	決算額:8,164千円 予算額:13,390千円	コンベンション開催件数	平成25年度 203件 平成26年度 226件 平成27年度 217件 平成28年度 214件 平成29年度 226件 平成30年度 217件 令和元年度 171件 令和2年度 24件 令和3年度 42件	昨年度同様、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための移動制限や外国人の入国制限の影響を受け、MICEの中止・延期が相次いだ。	175.0%	(公財)高松観光コンベンション・ビューローと連携しながら、新たに制作したMICE参加者向けプロモーション動画を効果的に活用し、MICE誘致を促進する。併せて、県とも連携しながら、大規模MICEや政府系国際会議の誘致及び開催支援、関係機関との連携による受入態勢の強化に取り組む。	県と連携しながら、2023年日本開催予定のG7関係閣僚大臣会合の本市開催を誘致するとともに、引き続き、(公財)高松観光コンベンション・ビューローや県と連携しながら、大規模MICEや政府系国際会議の誘致及び開催支援、関係機関との連携による受入態勢の強化に取り組む。	新型コロナウイルス感染症の状況を考慮しながら、感染症拡大防止対策助成制度及びハイブリット会議開催支援助成制度の継続等、安全・安心に高松でMICEを開催するためのMICE主催者向けの支援について検討する。	継続	観光交流課
19	「気持ち高まる、高松。」シティプロモーション事業	高松を知らない層に対して、効果的な情報発信を行うことにより、本市に対するポジティブなイメージの浸透を図り、観光・MICE誘致のみならず、移住・定住促進、シビックプライド醸成などにつなげる。	8.17	決算額:5,067千円 予算額:5,158千円	サイト訪問件数	平成30年度 63,459件 令和元年度 159,258件 令和2年度 128,570件 令和3年度 166,374件	影響無し	129.4%	「エクスペリエンス高松」による本市ならではの魅力的な体験型コンテンツやグルメ等の情報発信を強化するとともに、旅ナカでのお役立ち情報を集約させるサイト大規模改修を完了させ、本市滞在中の満足度向上を図った。	瀬戸内国際芸術祭の開催に合わせて、メインビジュアルに瀬戸芸作品を設定する、来場者に対してグルメ情報や滞在中のお役立ち情報、関連イベント情報等を提供する等のトップページの改修を行うとともに、屋島山上交流拠点施設やサイクリング等の本市ならではの体験型コンテンツを特集した記事を蓄積し、情報発信を行う。 併せて、引き続き、「気持ち高まる、高松。」インスタグラムを活用し、魅力的な画像の拡散を図る。	影響なし	継続	観光交流課
20	せとるべ(高松港玉藻防波堤灯台)夜間特別公開	”灯台のまち高松”事業の一つとして、若年層への認知度向上及びメディアの拡散効果を狙って、日中は毎年開催されているものの、夜間は開催されてこなかったせとるべの特別公開を行う。	8.17	決算額:0千円 予算額:0千円	高松市創造都市推進局Facebookにおける「灯台」関連発信記事のリーチ数	平成30年度 18,358件 令和元年度 9,996件 令和2年度 2,400件 令和3年度 1,569件	影響無し	65.4%	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、せとるべの夜間特別公開は実施しなかった。	R4.3に(公財)高松観光コンベンション・ビューローが航路標識協力団体に認定されたことに伴う事業の移譲、更には「灯台のまち高松実行委員会」の解散が予定されているため、本事業については廃止する。	—	廃止	観光交流課

第2次高松市創造都市推進ビジョンにおける取組について

【交流プロジェクト】 地域を通して世界につながる交流へ

No.	主な取組事業名	主な取組事業概要	SDGs	R3決算額(千円) R4予算額(千円)	実施実績 (指標)	実施実績 (数値)	実施実績(数値)に 対するコロナの影響 内容	実施実績上昇率 (前年度/前々年 度)	令和3年度における成果 (コロナの影響や具体的な対応含む)	令和4年度事業内容	令和4年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	今後の方向 性	主管課 (関係部署)
21	瀬戸内国際芸術祭2022	文化芸術の振興と、瀬戸内の活性化や地域振興を、世界に向けての情報発信に寄与するため、現代アートの作家や建築家と協働する国際的な芸術祭と位置付けて、香川県・関係市町及び福武財団などと共同で開催する瀬戸内国際芸術祭を推進していきます。今後も市独自の関連事業を積極的に実施し、内陸部への観光客の誘客も図り、本市の活性化につなげていきます。	4.8.17	決算額: 49,874千円 予算額: 99,482千円	トータル来場者/外国人の割合(アンケート調査)/経済波及効果	2010年 938,246人/1.1%/一億円 2013年 1,070,368人/2.6%/132億円 2016年 1,040,050人/13.4%/139億円 2019年 1,178,484人/23.6%/180億円	—	—	3年に1回開催する瀬戸内国際芸術祭の間に開催するART SETOUCHIにおいて、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、高齢者が多く居住する会場となる島に配慮し、本来の計画どおりの実施を取りやめ、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じ、ART SETOUCHIを1実施した。	新型コロナウイルス感染症の状況を見極めながら、女木島、男木島、大島、高松港を高松市の会場として瀬戸内国際芸術祭2022を開催する。	新型コロナウイルス感染症の影響により、海外作家の来日や、県外の作家が来高して作品制作することが困難になったり、作品制作や受付のボランティアサポーターである「こえび隊」の募集に影響が生じることが予想される。 会場となる離島等においては、地元に対して新型コロナウイルス感染症拡大予防対策を丁寧に説明し、理解を得た上で、作品制作や来場者を迎える体制づくりを構築する。	継続	文化芸術振興課
22	高松国際ピアノコンクール	音楽芸術の振興と国際的な文化交流を図ることにより、地域に根ざした文化芸術の創造と振興に寄与することを目的として、民間主導により行われる国際的なピアノコンクールの開催を支援します。第3回高松国際ピアノコンクール(平成25年度開催)の翌年度からは、同コンクール組織委員会の実施事業以外に、本市と組織委員会が連携した取組として、学校訪問リサイタル、コンクール審査員による演奏会や公開レッスンを実施し、今後は、令和4年の第45回開催を契機に本市の音楽文化の交流の場を広げるとともに、その発展を目指していきます。	4.8.17	決算額: 1,000千円 予算額: 27,860千円	大会参加人数/観客数	平成18年 306人/11,250人 平成22年 243人/7,550人 平成26年 239人/7,180人 平成30年 332人/10,230人	第5回高松国際ピアノコンクールが来年度に開催延期となった。	—	高松国際ピアノコンクール推進事業に関しては、新型コロナウイルス感染症防止対策を講じた上で実施できたが、第5回高松国際ピアノコンクールに関しては、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みて令和5年2月に実施することとした。	新型コロナウイルス感染症の拡大状況に応じて事業の実施方法を検討し、事業継続に努める。	新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、実施内容、感染症拡大防止策等を検討する。	継続	文化芸術振興課
23	かがわ山なみ芸術祭	芸術を軸とした地域の活性化を図るため、県内在住のアーティストと国内外の優れたアーティストが連携し、現代美術作品の展示やワークショップを実施します。地域の歴史文化や風土を作品制作における重要なテーマとし、そこでしか見ることができないアートイベントを目指します。	4.17	決算額: 0千円 予算額: 1,900千円	来場者数	2016 ■来場者数(高松市エリア) 瓦町FLAG(プレイベント) 700人 塩江町 2,826人 2019 ■会期(塩江エリア) 9月27日(金)~10月20日(日) ■会場(塩江エリア) 塩江美術館・モモの広場、大滝山県民いこいの森、大屋敷地区、西照神社、ホテルセカンドステージ ■来場者数(塩江エリア) 962人 ※塩江美術館のみ	—	—	—	新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じた上で、かがわ山なみ芸術祭2022を開催する。瀬戸内国際芸術祭2022県内周遊事業としても位置づける。	アーティスト及び地域住民と十分協議し、新型コロナウイルス感染症の状況に応じた適切な対策を検討する。	継続	文化芸術振興課

第2次高松市創造都市推進ビジョンにおける取組について

【交流プロジェクト】 地域を通して世界につながる交流へ

No.	主な取組事業名	主な取組事業概要	SDGs	R3決算額(千円) R4予算額(千円)	実施実績 (指標)	実施実績 (数値)	実施実績(数値)に 対するコロナの影響 内容	実施実績上昇率 (前年度/前々年 度)	令和3年度における成果 (コロナの影響や具体的な対応含む)	令和4年度事業内容	令和4年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	今後の方向 性	主管課 (関係部署)
24	まちなかパフォー マンス事業 ・TAKAMATSU MUSIC BLUE FES ・サンポートオー タムジャム ・高松フラストリー ト ・街クラシックin高 松 ・たかまつ大道芸 フェスタ	市民の文化芸術への関心を高めるとともに、まちかどに芸術のあふれる「アート・シティ高松」の実現と中心市街地の賑わいを創出するため、サンポート高松や商店街等で、アートに関連した各種イベントを実施します。 今後は、音楽やパフォーマンス等を通して、市民や観光客が、中心市街地において文化芸術を気軽に楽しめる空間づくりを推進します。	4.17	決算額: 6,025千円 予算額: 3,500千円 ※決算額のうち3,025千円は新型コロナウイルスに関する臨時交付金	【TAKAMATSU MUSIC BLUE FES】観客数 (平成25年、26年は街角に音楽をフェスティバル)	平成25年度 6,850人 平成26年度 7,610人 平成27年度 20,200人 平成28年度 26,370人 平成29年度 26,370人 平成30年度 26,900人 令和元年度 33,000人 令和2年度 204人 ※入場制限 (生配信観覧 1,591人) 令和3年度 4,415人 ※入場制限 (生配信観覧 5,126人)	開催時期をR4.3月に延期し、観覧エリアを制限し実施した。	531.5%	延期の上、サンポートオータムジャムと合同開催とした。また、会場をサンポート高松エリアのみとし、入場制限、消毒、検温、オンライン配信等の対応の上で実施した。	新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じた上で、「アート・シティ高松」の実現と中心市街地の賑わいを創出するため、継続実施する。	新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、実施時期、内容、感染症拡大防止策等を検討する。	継続	文化芸術 振興課
				決算額: 1,000千円 予算額: 1,000千円	【サンポートオータムジャム】観客数 (平成25年度、26年度はワールドダンスフェスティバル)	平成25年度 3,100人 平成26年度 650人 平成27年度 3,800人 平成28年度 1,500人 平成29年度 1,600人 平成30年度 1,600人 令和元年度 1,700人 令和2年度 173人 ※入場制限 (生配信観覧 2,648人) 令和3年度 616人 ※入場制限 (生配信観覧 1,680人)	開催時期をR4.3月に延期し、観覧エリアを制限し実施した。	81.4%	TAKAMATSU MUSIC BLUE FESと合同開催とした。入場制限、消毒、検温、オンライン配信等の対応の上で実施した。	新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じた上で、「アート・シティ高松」の実現と中心市街地の賑わいを創出するため、継続実施する。	新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、実施時期、内容、感染症拡大防止策等を検討する。	継続	文化芸術 振興課
				決算額: 500千円 予算額: 500千円	【高松フラストリート】観客数	平成25年度 6,800人 平成26年度 7,800人 平成27年度 8,600人 平成28年度 9,500人 平成29年度 10,500人 平成30年度 12,600人 令和元年度 14,200人 令和2年度 753人 ※入場制限 令和3年度 1,672人 ※入場制限	開催時期をR4.3月に延期し、観覧エリアを制限し実施した。	222.0%	延期の上で、サンポート高松エリアで開催した。出演者の体調管理、入場制限、消毒、検温等の対応の上で実施した。	新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じた上で、「アート・シティ高松」の実現と中心市街地の賑わいを創出するため、継続実施する。	新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、実施時期、内容、感染症拡大防止策等を検討する。	継続	文化芸術 振興課
				決算額: 500千円 予算額: 500千円	【街クラシックin高松】観客数	平成25年度 6,470人 平成26年度 1,630人 平成27年度 3,300人 平成28年度 1,670人 平成29年度 1,020人 平成30年度 1,650人 令和元年度 2,400人 令和2年度 中止 令和3年度 269人	事前予約制とし、会場の収容人数内での実施とした。	—	新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じ、事前予約制により来場者数を会場の収容人数以内に制限しながら実施した。	新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じた上で、「アート・シティ高松」の実現と中心市街地の賑わいを創出するため、継続実施する。	新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、実施時期、内容、感染症拡大防止策等を検討する。	継続	文化芸術 振興課
				決算額: 6,974千円 予算額: 4,000千円 ※決算額のうち2,974千円は新型コロナウイルスに関する臨時交付金	【たかまつ大道芸フェスタ】観客数	平成25年度 27,600人 平成26年度 38,000人 平成27年度 46,600人 平成28年度 54,500人 平成29年度 62,250人 平成30年度 66,060人 令和元年度 73,470人 令和2年度 567人 ※入場制限 (生配信観覧 13,400人) 令和3年度 5,101人 ※入場制限 (生配信観覧 7,336人)	開催時期をR4.3月に延期し、観覧エリアを制限し実施した。	89.0%	会場をサンポート高松エリアのみとし、出演者の体調管理、事前申込制、入場制限、消毒、検温、オンライン配信等の対応の上で実施した。	新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じた上で、「アート・シティ高松」の実現と中心市街地の賑わいを創出するため、継続実施する。	新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、実施時期、内容、感染症拡大防止策等を検討する。	継続	文化芸術 振興課

第2次高松市創造都市推進ビジョンにおける取組について

【交流プロジェクト】 地域を通して世界につながる交流へ

No.	主な取組事業名	主な取組事業概要	SDGs	R3決算額(千円) R4予算額(千円)	実施実績 (指標)	実施実績 (数値)	実施実績(数値)に 対するコロナの影響 内容	実施実績上昇率 (前年度/前々年 度)	令和3年度における成果 (コロナの影響や具体的な対応含む)	令和4年度事業内容	令和4年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	今後の方向 性	主管課 (関係部署)
25	アーティスト・イン・レジデンス事業	(高松アーティスト・イン・レジデンス) 高松市内の活用されていない資源(例えば、空き家、廃校、商店街の空き店舗等)を活用し、国内外から招へいたアーティストが一定期間滞在し、地域とのつながりの中で作品制作を行うことで、地域との協働が生まれ、地域に賑わいをもたらすとともに、アートの普及や若手アーティスト等の育成にもつなげます。	4.17	決算額: 0千円 予算額: 0千円	応募件数・実施事業数	平成27年度 応募17件、実施3件 平成28年度 応募40件、実施3件 平成29年度 応募15件、実施3件 平成30年度 応募27件、実施2件 令和元年度 実施なし 令和2年度 応募25件、実施3件 令和3年度 中止	—	—	—	瀬戸内国際芸術祭開催年度であるため、従来通り実施しない。	—	継続	文化芸術振興課
		(大島アーティスト・イン・レジデンス) 県内外の小中学生から中学生までの子どもたちが参加し、大島に宿泊するサマーキャンプを実施します。入所者との交流によりハンセン病の歴史を学び、歴史的遺産の伝承に資するとともに、大島の自然、瀬戸内国際芸術祭の作品鑑賞、アーティストによるワークショップ体験を通じ、大島の魅力を伝え、将来にわたる島の振興を図ります。	4.17	決算額: 2,000千円 予算額: 2,000千円	参加児童・生徒数	平成27年度 32人 平成28年度 22人 平成29年度 25人 平成30年度 21人 令和元年度 25人 令和2年度 3人 令和3年度 7人	実施内容がオンラインであったので、大島で実施していた時より、参加者数は減っている。	233.3%	県内外の小中学生が参加したオンラインによるサマーキャンプを実施。入所者との交流によりハンセン病の歴史を学び、大島の自然に親しむとともに、アーティストによるワークショップを行い、その内容をラジオ番組「大島アワー」にてウェブ上に公開した。	小中学生が参加し、3日間、大島に宿泊しながら、ワークショップを行い、ウェブ上で公開しているラジオ番組「大島アワー」を制作する。「大島アワー」には、大島青松園入所者のインタビューやワークショップで作成した楽器の演奏等を盛り込み発信し、多くの人に大島や大島での活動について知ってもらい、来訪のきっかけを創出する。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンラインでの実施とする等、今後においても大島青松園入所者等の意向に十分配慮した実施形態としていく。	継続	文化芸術振興課
26	高松市文化芸術ホール改修事業	高松市文化芸術ホールは平成30年度で開館から14年が経過し、音響・照明・舞台設備の更新が必要となるとともに、ホールのつり天井は既存不適格建築物として改修等の対応が必要になっています。そのため、更新・改修に係る工法・範囲等の調査検討の上、効率的な更新改修計画に基づき実施設計し、休館期間を設けて全面的に更新・改修を行います。	4.17	決算額: 0千円 予算額: 455,523千円	設備更新・建物改修に係る進捗率	平成30年度 6% 令和元年度 20% 令和2年度 23% 令和3年度 30%	緊急事態宣言に伴う外出自粛の影響により、現地調査に入ることができず、実施設計業務に支障を来した。	130.4%	コロナの影響で当初の見込みより遅れたものの、令和3年度に実施設計業務が完了した。	設計に基づき、令和4、5年度の2か年度にわたり、改修工事を実施する。	改修工事を実施する工事関係者の新型コロナウイルス感染症拡大予防対策を徹底し、改修工事を施工する。	継続	文化芸術振興課

第2次高松市創造都市推進ビジョンにおける取組について

【交流プロジェクト】 地域を通して世界につながる交流へ

No.	主な取組事業名	主な取組事業概要	SDGs	R3決算額(千円) R4予算額(千円)	実施実績 (指標)	実施実績 (数値)	実施実績(数値)に 対するコロナの影響 内容	実施実績上昇率 (前年度/前々年 度)	令和3年度における成果 (コロナの影響や具体的な対応含む)	令和4年度事業内容	令和4年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	今後の方向 性	主管課 (関係部署)
27	高松城跡等整備 事業	城下町高松のシンボルとなる特徴 的な城郭を後世まで守り伝えるた め、「史跡高松城跡保存活用計画」 に基づき、石垣や披雲閣等各施設 の保存修理や桜御門の復元に努め る。また、天守の再現に向けて資料 調査を行う。	4	決算額:252,574千円 予算額:244,761千円	玉藻公園入園者 数	平成25年度 178,776人 平成26年度 194,026人 平成27年度 218,264人 平成28年度 238,146人 平成29年度 228,385人 平成30年度 202,161人 令和元年度 229,439人 令和2年度 82,966人 令和3年度 79,634人	玉藻公園を臨時 休園する等して おり、来園者数へ の影響は極めて大 きい。	96.0%	令和3年度における成果 (コロナの影響や具体的な対応含む) 披雲閣(蘇鉄の間)耐震補強工 事、長櫓改修工事を完了した。 令和2年度から新型コロナウイルス 感染症拡大の影響により、桜御門 復元整備工事の進捗の遅れが生じ たため、同工事の期間を令和4年6 月まで繰り越した。 また、月見櫓改修工事の実施設計 を作成した。 さらに、「史跡高松城跡保存活用 計画」を策定した。	月見櫓改修工事を実施するとともに、披雲 閣(大書院)耐震補強工事の実施設計を作成 する。桜御門復元整備工事しゅん工に伴う内 堀仮設ヤード撤去工事を行う。	新型コロナウイルス感染症の影響 により、来園者数の回復がどこまで 進むか懸念される。また、史跡内で 実施する工事等への影響も懸念さ れる。 なお、入園に当たっては、手指消 毒や検温など適切な感染症対策を 継続する。	継続	文化財課
28	文化財保存活用 推進事業	市内指定等文化財の適切な保存 を行うとともに、市民に公開する良 好な環境を提供する。	4	決算額: 18,861千円 予算額: 19,369千円				—	文化財の調査等を行うとともに、文 化財管理及び保存伝承活動等に要 する経費を一部助成するほか、市 民・親子文化財教室や、連載講座な どを実施した。 なお、新型コロナウイルス感染症 拡大防止対策として、市民文化財教 室等は、広い会場で定員を収容人 数の50%程度として実施した。 また、ふるさと探訪については、コ ロナの県の警戒レベルが実施水準 まで下がらなかったため、実施でき なかった。	引き続き、市内指定等文化財の適切な保 存を行うとともに、適切な感染症対策を講じ ながら、市民に公開する良好な環境を提供す る。	史跡地の除草等や、文化財管理 及び保存伝承活動に要する経費の 一部助成については、例年どおり実 施する。 文化財学習・体験講座について は、適切な感染症対策を講じなが ら、開催時期・内容を検討する。	継続	文化財課
29	障がい者スポー ツ推進事業	障がい者スポーツの推進を図るた め、本市スポーツ施設における環境 整備や障がい者スポーツ大会の誘 致等を通じて、障がい者スポーツ人 口の増大と競技力の向上に取り組 みます。	3,4,10,17	決算額: 8,463千円 予算額: 1,440千円			東京2020大会の 影響もあり、パラ スポーツへの問い 合わせや地域で の新規イベントの 依頼も増えたが、 コロナの影響によ り実施できなかった。	—	日本パラ陸上競技連盟の育成合 宿等は、報道関係も含め、コロナ対 策を徹底し実施した。 各地域での体験会等については、 人数制限や消毒可能な種目を取り 入れるなど、コロナ対策を講じたが、 本市のコロナ感染状況が大きく影響 し、1月以降の体験会等については 全て中止となった。 スポーツ施設においては、市総合 体育館の多目的トイレを改修し、新 たにオストメイトを導入し環境整備に 取り組んだ。	日本パラ陸上競技連盟強化合宿開催にあ わせ、市内子どもを対象に陸上教室を開催 し、パラスポーツ体験を通し、パラリンピアン との交流を図る。	事前募集により、参加者の把握を 行い、健康チェック表の提出など、新 型コロナウイルス感染防止対策を講 じた上で実施する。	継続	スポーツ振 興課

第2次高松市創造都市推進ビジョンにおける取組について

【交流プロジェクト】 地域を通して世界につながる交流へ

No.	主な取組事業名	主な取組事業概要	SDGs	R3決算額(千円) R4予算額(千円)	実施実績 (指標)	実施実績 (数値)	実施実績(数値)に 対するコロナの影響 内容	実施実績上昇率 (前年度/前々年 度)	令和3年度における成果 (コロナの影響や具体的な対応含む)	令和4年度事業内容	令和4年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	今後の方向 性	主管課 (関係部署)
30	トリムの祭典	昭和54年度から、毎年体育の日に中央公園等において、誰もが気軽に挑戦・体験できる市民総参加型のスポーツ・レクリエーションイベントとして開催しています。公園内では、ニュースポーツ体験、健康チェックコーナー、ヨガや太極拳等のステージイベント、御当地キャラとの触れ合いなど、また、公園外では、ウォーキング、サイクリング、ちびっ子鬼ヶ島探検などを実施しています。	1,2,3,4,5,6,10,11,17	決算額: 0千円 予算額: 2,000千円	参加者数	平成25年度 5,000人 平成26年度 中止 平成27年度 6,000人 平成28年度 6,000人 平成29年度 6,000人 平成30年度 6,000人 令和元年度 6,000人 令和2年度 中止 令和3年度 中止	イベント中止	—	コロナ対策を講じ、イベントの開催に向け調整しても、スポーツイベントが中止となった。	10月10日に中央公園等において、誰もが気軽に挑戦・体験できる市民総参加型のスポーツ・レクリエーションイベントを開催予定。公園内では、パラスポーツ体験、健康チェックコーナー、ヨガやフォークダンス等のステージイベントなど、公園外では、ウォーキング、サイクリング、ちびっ子鬼ヶ島探検などを実施する予定。	参加者の把握を行い、健康チェック表の提出など、新型コロナウイルス感染防止対策を講じた上で実施する。	継続	スポーツ振興課
31	東京2020オリンピック・パラリンピック関連事業(事前合宿誘致実施)	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、事前合宿誘致等に努めるほか、オリンピック・パラリンピアンを招聘しスポーツイベントを実施するなど、機運醸成を図ります。	3,4,10,17	決算額: 0千円 予算額: —千円			事前合宿中止	—	国のガイドラインを参考に相手地域の台湾と事前合宿に向け、調整をしていたが、台湾から、選手、スタッフの感染リスクを回避するため、前合宿中止の申し入れがあり、中止となった。			完了	スポーツ振興課
32	東京2020オリンピック・パラリンピック関連事業(聖火リレー事業)	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、事前合宿誘致等に努めるほか、オリンピック・パラリンピアンを招聘しスポーツイベントを実施するなど、機運醸成を図ります。	3,4,10,17	決算額: 12,386千円 予算額: —千円			—	—	ミニセレブレーション会場の栗林公園、セレブレーション会場の玉藻公園への入場については、大会組織委員会から示されたガイドラインに基づき、県内在住の方を対象に事前申込を行ったほか、オンライン視聴の案内を行った。 また、パラ採火式については、無観客開催としたほか、聖火ビジットも中止とした。			完了	スポーツ振興課

第2次高松市創造都市推進ビジョンにおける取組について

【交流プロジェクト】 地域を通して世界につながる交流へ

No.	主な取組事業名	主な取組事業概要	SDGs	R3決算額(千円) R4予算額(千円)	実施実績 (指標)	実施実績 (数値)	実施実績(数値)に 対するコロナの影響 内容	実施実績上昇率 (前年度/前々年 度)	令和3年度における成果 (コロナの影響や具体的な対応含む)	令和4年度事業内容	令和4年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	今後の方向 性	主管課 (関係部署)
33	高松市美術館サ ポートショップ事 業	会期中の特別展チケットの半券、 又は有効期間中の定期観覧券(年 間パスポート)を提示すると、参加店 舗で割引などの特典を受けることが できる。また、各サポートショップに 「高松市美術館サポートショップ利用 者割引券」を設置し、サポートショッ プ利用のお客様がその割引券を美 術館に持参すると特別展観覧料が 割引になる相互割引制度を導入し、 商店街周辺のにぎわいづくりにつな げていく。	4	決算額: 0千円 予算額: 78千円	令和2年度まで 【参加店舗数】 令和3年度～ 【協力依頼先】	平成24年度 39店 平成25年度 53店 平成26年度 69店 平成27年度 119店 平成28年度 147店 平成29年度 145店 平成30年度 134店 平成31年度 125店 令和2年度 126店 令和3年度 約740店(協力 依頼先)	コロナの影響で 個々の店舗の訪 問が困難になっ たこともあり、訪問 先を商店街組合 へ変更したこと で、協力依頼先の 店舗数が大幅に 拡大した。	587.3%	連携先を個々の店舗から商店街 組合へ移し、協力店舗数の拡大を 図ることで、更なる美術館を含めた 商店街周辺のにぎわいづくりにつな げることができた。	引き続き商店街組合と協力し、更なる美術 館を含めた商店街周辺のにぎわいづくりにつ なげていく。	令和4年度も感染状況などを注視 しながら、可能な範囲で実施してい く。	継続	美術館美術課
34	市民活動センター 運営事業	市民と行政が共に考え、共に活動 する協働の場として設置している市 民活動センターを管理運営し、セン ター事業を実施します。	11	決算額: 19,692千円 予算額: 20,326千円	【市民活動セン ター】総利用者数	平成26年度 3,218人 平成27年度 15,429人 平成28年度 19,752人 平成29年度 23,977人 平成30年度 21,311人 令和元年度 23,043人 令和2年度 10,263人 令和3年度 13,156人	講座の中止、会議 室の使用制限等 を行ったものの、 休館しなかったた め、総利用者数は 増加した。	128.2%	新型コロナウイルスの感染拡大防 止対策としての「新しい生活様式」に 対応するために整備した、会議室等 貸館用公衆無線LANの活用などに より利用を促進した。	中間支援組織としての機能を充実し、市民 活動団体等への活動の更なる支援強化を図 るとともに、市民活動団体等と地域との連携 強化のためマッチングに積極的に取組む。セン ター職員のスキルアップを行い、市民に気 持ちよく利用してもらえるよう親しみやすい窓 口づくりにも努め、相談事業の強化・充実を 図る。	新型コロナウイルス感染拡大期に おいては、講座の中止、会議室の使 用制限等により対応する。また、会 議室等貸館用公衆無線LANが使用 できることを周知するなどし、会議室 の利用促進を推進する。	継続	男女共同 参画・ 協働推進 課
35	障がい者アートの リンク事業	芸術活動を通じて障がい者の感 性・想像力を育み、障がい者の社会 参加の促進を図るため、希望する障 害福祉サービス事業所等へ芸術家 を派遣し、創造性の芽を持つ障がい 者とアーティストが長期継続的に関 わることで生まれる新しい概念をか たちに創作活動を支援します。	3.4	決算額: 10,000千円 予算額: 10,000千円	派遣先事業所	平成26年度 6か所 平成27年度 8か所 平成28年度 9か所 平成29年度 10か所 平成30年度 12か所 令和元年度 13か所 令和2年度 14か所 令和3年度 15か所	新型コロナウイルス 感染症対策 で、参加者を分散 してソーシャル ディスタンスを確 保したことなどの 影響で、参加延べ 人数は昨年度に 比べて大きく減少 したものの、実施 事業所数、参加延 べ人数は、共に目 標値を達成でき た。	107.1%	新型コロナウイルス感染症対策 で、参加者を分散してソーシャルディ スタンスを確保したことなどの影響 により、参加延べ人数は昨年度に比 べて大きく減少したものの、実施事 業所数、参加延べ人数は、共に目 標値を達成できた。 また、本市の姉妹都市である、米 国、セント・ピーターズバーグ市との 姉妹提携50周年を記念して、現地 の事業所と共同して作品制作に取り 組み、記念式典でその成果が発表さ れるなど、都市交流の推進にも寄与 している。 また、報告展覧会の開催に当たっ ては、コロナ禍の中、動画配信等 を行うなど、効果的な情報発信に取り 組んだ。	引き続き、芸術活動を通じて障がい者の感 性・想像力を育み、障がい者の社会参加の 促進を図る。	新型コロナウイルス感染拡大期に おいては、対面型の活動方式から、 オンラインによる活動への変更等 を行う。 報告展覧会については、感染防止 策を講じた上で開催する(予定)。	継続	障がい福 祉課
36	サンポート高松ト ライアスロン	サンポートエリアの海と本市中心 市街地を会場に、日本全国・世界か ら幅広い選手たちが参加できる国内 屈指の都市型トライアスロン大会 「サンポート高松トライアスロン～瀬 戸内国際体育祭～」を共催し、参加 者及び市民の心と体の健康づくりを 推進するとともに、本市及びサン ポート高松のPR等、活力あるまちづ くりの促進を図ります。 また、平成29年度からは、オリン ピックの選考対象に位置づけられて いる国際大会「アジアカップ」を同時 開催し、市民がトップレベルのス ポーツを間近に観戦する機会を提供 するとともに、スポーツを通じた国際 交流にも取り組んでいます。	1.2,3,4,5, 6,10,11,1 7	決算額: 2,149千円 予算額: 15,000千円	参加選手数/ ボランティアスタ ッフ数/観客数	平成25年度 458人/749 人/4,500人 平成26年度 514人/676 人/12,000人 平成27年度 479人/703 人/13,500人 平成28年度 584人/640 人/14,800人 平成29年度 687人/ 1,016人/38,500人 平成30年度 中止 令和元年度 666人/1,016 人/44,200人 令和2年度 中止 令和3年度 中止	大会中止	—	サンポートエリアを無観客とするな ど、保健所とも連携し、医療体制を 整え、大会開催に向け準備を進めて いたが、コロナの感染拡大により、 中止した。	新県立体育館建設に伴い、サンポートエ リアにおける競技コース並びに会場レイアウト を一部変更し、エイジ(一般)競技大会を7月3 日(日)に実施。	新型コロナウイルス対策委員会 が中心となり、保健所等とも連携し、新 型コロナウイルス感染症対策を講 じ、感染状況を見極めながら事業内 容等を検討する。	継続	スポーツ振 興課

第2次高松市創造都市推進ビジョンにおける取組について

【交流プロジェクト】 地域を通して世界につながる交流へ

No.	主な取組事業名	主な取組事業概要	SDGs	R3決算額(千円) R4予算額(千円)	実施実績 (指標)	実施実績 (数値)	実施実績(数値)に 対するコロナの影響 内容	実施実績上昇率 (前年度/前々年 度)	令和3年度における成果 (コロナの影響や具体的な対応含む)	令和4年度事業内容	令和4年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	今後の方向 性	主管課 (関係部署)
37	東京2020オリンピック・パラリンピック関連事業 (交流事業)	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、事前合宿誘致等に努めるほか、オリンピック・パラリンピアンを招聘しスポーツイベントを実施するなど、機運醸成を図ります。	3.4,10,17	決算額: 202千円 予算額: — 千円			イベント中止	—	コロナ対策を講じ、イベントの開催に向け調整しても、スポーツイベントが中止となった。			完了	スポーツ振興課
38	高松市・南昌市友好都市提携30周年記念事業	令和2年度に南昌市(中華人民共和国)との友好都市提携30周年を迎えることから、国際交流活動を更に活性化させ、市民の国際感覚の醸成を図るため、記念事業を実施する。	17	決算額: 0千円 予算額: 617千円	記念事業参加者数	令和2年度 中止 令和3年度 中止	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、公式訪問は延期となった。	—	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に伴い、延期となっていた公式訪問団の派遣は令和3年度においても実施できなかった。	公式訪問団の相互派遣を検討	新型コロナウイルス感染症の収束状況等を見極めながら、公式訪問団派遣の可否や実施時期等を検討する。	継続	観光交流課
39	中国・四国パラ陸上競技大会	平成29年4月の屋島レクザムフィールドのオープンに伴い、7月に同会場にて四国で初開催し、今後、令和元年、令和2年の2年連続で開催します。 また、大会前日にはパラリンピアンとの交流事業、義足体験授業を実施するほか、大会当日も障がい者スポーツ体験を実施し、障がい者スポーツの推進に努めます。	3.4,10,17	決算額: — 千円 予算額: — 千円	大会参加人数	平成29年度 112人 平成30年度 未開催 令和元年度 105人 令和2年度 中止	—	—	実施予定なし	実施予定なし	影響なし	継続	スポーツ振興課
40	高松市・セント・ピーターズバーグ市姉妹都市提携60周年記念事業	令和3年度にセント・ピーターズバーグ市(アメリカ合衆国)との姉妹都市提携60周年を迎えることから、国際交流活動を更に活性化させ、市民の国際感覚の醸成を図るため、記念事業を実施する。	17	決算額: 694千円 予算額: 3225千円	記念事業参加者数	令和3年度 195人	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、各種記念事業の規模を縮小又はオンラインでの実施に変更したため、従来周年事業より参加者数が大幅に減少した。	100%	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、予定していた記念事業のうち、公式訪問団の派遣は令和4年度以降に延期した。それ以外の記念事業についても、オンラインや参加人数を限定するなど規模を縮小して実施し、オンデマンド配信を行った。	公式訪問団の相互派遣を検討	新型コロナウイルス感染症の収束状況等を見極めながら、公式訪問団派遣の可否や実施時期等を検討する。	継続	観光交流課